
投稿規定

1. 筆頭著者および共著者は本学会の会員に限られる。
2. 投稿論文は、編集委員会の審査を受け修正を指示されることがある。
指定期間内に修正されない場合は再投稿となることがある。
掲載は、編集委員会の承認を経る。
3. 投稿論文の種類と分量は以下の通りとする（表）。
ワードにて横書きで作成し、A4紙に明朝の書体にて出力する。
 - ① 総説：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め17,000字以内とする。図表は合計5点以内、文献は50個程度とする。ただし、原稿総量は刷り上がり8頁を越えないこととする。
 - ② 原著：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め17,000字以内とする。図表は合計7点以内、文献は10～20個程度とする。ただし、原稿総量は刷り上がり8頁を越えないこととする。
 - ③ 症例報告：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め8,000字以内とする。図表は合計7点以内、文献は10～15個程度とする。ただし、原稿総量は刷り上がり4頁を越えないこととする。
 - ④ 実践報告・資料：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め8,000字以内とする。図表は合計5点以内、文献は10個程度とする。ただし、原稿総量は刷り上がり4頁を越えないこととする。
 - ⑤ 短報：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め4,000字以内とする。図表は合計2点以内、文献は10個程度とする。ただし、原稿総量は刷り上がり2頁を越えないこととする。
 - ⑥ 研修報告：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め4,000～6,000字とする。図表は合計2点以内、文献は10個程度とする。ただし、原稿総量は刷り上がり2頁以上3頁を越えないこととする。投稿者は日本小児科学会後期研修医とし、同一人物は1回のみでの投稿受付とする。
 - ⑦ 「編集者への手紙」：簡潔に記載すること。
※刷り上がり本文1頁は、図表を含まない場合、2,000字程度である。
※図表の刷り上がり換算の目安は、大1,200字程度、中700字程度、小300字程度である。
4. 要旨：総説・原著・症例報告・実践報告・資料・短報・研修報告には、400字以内の要旨を付す。
5. キーワード：総説・原著・症例報告・実践報告・資料・短報・研修報告には5語以内のキーワードを付す。
6. 総説・原著・症例報告・実践報告・資料・短報・研修報告の提出では、表題、論文種別、キーワード、所属、著者名、著者連絡先（住所／TEL／FAX／E-mail）を記載した表題の頁を添付すること。なお、表題の頁は規定分量に含めない。
7. 総説・原著・症例報告・実践報告・資料・短報・研修報告は、表題の頁以下を、要旨、本文、文献、図表、英文抄録の順とする。ページ番号は本文の最初を1頁目とし、以下順に文献まで振る。図表の挿入箇所を、本文横に赤字で記載する。
8. 次の諸費用は、以下の通りとする。
 - ① 総説・原著の場合、刷り上がり8頁まで無料。
 - ② 症例報告・実践報告・資料の場合、刷り上がり4頁まで無料。
 - ③ 短報の場合、刷り上がり2頁まで無料。
 - ④ 研修報告の場合、刷り上がり3頁まで無料。
 - ⑤ カラー製版・図表トレースの実費、また、規定ページを超える場合は1頁につき10,000円の印刷費実費負担とする。
9. 原稿は専門用語以外は当用漢字、新仮名遣いとする。
10. 図表は、データ（パワーポイント、PDF、jpg等）にて作成し、図表1点をA4紙に印刷する。また、白黒掲載の場合は白黒（グレースケール）データにて作成・印刷し、カラー掲載の場合のみカラーデータにて作成・印刷する。
11. 英文抄録は、表題、著者名、所属、キーワード、抄録（総説・原著・症例報告は300語以内、実践報告・資料・短報・研修報告は200語以内）の順とする。英文は必ず次の条件を満たしているものであることとする。
 - ① ワードにてCenturyの書体で作成する。
 - ② 熟達した人の英文であるか、その校閲を経ている。

12. 外国の人名は原語、薬品名は一般名、専門用語は日本語とし、紛らわしいものは括弧 () 内に原語を入れること。度量衡の単位は c.g.s. とする。
13. 引用参考文献は必要最小限とし、例にならって著者名、題名、雑誌名、巻数、頁、発行年次 (西暦) を、単行本は著者名、書名、出版社名、頁、発行年次 (西暦) を記載する。いずれも論文中での引用順に番号を付し、論文末尾に一括して記載する。本文中では引用箇所を片括弧肩書きとして記入する。
なお雑誌名は公の略称を用いること。本誌の略称は「子の心とからだ」である。
〈例〉
 - 1) 高木俊一郎：遺糞症。小児診療 27, 1454-1459, 1964.
 - 2) 長畑正道：心身症。大田敬三, 村上勝美 (監)：小児科診療講座 IV。金原出版, pp. 573-651, 1976.
 - 3) Rolider A, Houton RV: Treatment of constipation-caused encopresis by a negative reinforcement procedure. J Behav Ther Exp Psychiatry 16, 67-70, 1985.
 - 4) Gross RT: Enuresis. In Levine MD, Garey WB, Crocker AC, Gross RT. ed. Developmental-Behavioral Pediatrics. WB Saunders Co., pp. 573-586, 1983.
 - 5) Powers PS, Fernandez RC: Current treatment of anorexia nervosa and bulimia. 保崎秀夫, 高木洲一郎 (監訳)：神経性食欲不振症・過食の治療。医学書院, 1989.
 - 6) 厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室：平成27年度児童虐待防止に向けた取組の実施 (予定) 状況。厚生労働省。http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11901000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Soumuka/0000102939.pdf. [2016.09.06 アクセス]
 - 7) トラブルの現状と予防法。知的障害や自閉症等の障害のある人たちをトラブルから守る～自分で守る・みんなを守る～ 1. NHK厚生文化事業団福祉ビデオ, 2007. [DVD]
14. 執筆者は、一般社団法人日本小児心身医学会雑誌「子どもの心とからだ」誌 編集室宛てに、簡易書留にて原稿 (図表を含む) 正2部を送付し、E-mailにてデータ全てを送付する。なお、執筆者は手元に別に1部を保存する。
15. 論文の初回投稿時に、「日本小児心身医学会雑誌「子どもの心とからだ」に掲載された原稿の著作権に関する同意書」および「投稿承諾書」を同封するものとする。「同意書」および「承諾書」は、本誌に添付の様式で作成する (添付用紙をコピーして使用可)。なお、各書類ファイルは本学会HPよりダウンロードすることもできる。
16. 本誌への投稿は未公刊のものに限り、重複投稿は認めない。
17. 倫理面に関しては、ヘルシンキ宣言に準拠する。
18. 論文の著作権は、一般社団法人日本小児心身医学会に所属する。
19. 論文は、印刷雑誌および学会が指定するインターネット配信により二次利用する。
20. 原稿送付先：〒606-8305

京都府京都市左京区吉田河原町 14 近畿地方発明センタービル
 有限会社知人社 編集部内
 一般社団法人日本小児心身医学会雑誌「子どもの心とからだ」誌 論文投稿係
 TEL : 075-771-1373 / E-mail: kokoro-karada@chijin.co.jp

〈表 投稿論文の種類と執筆規定一覧〉

	総文字換算 ※1, 2	要旨	キーワード	図表	文献数	英文抄録	刷り上がり
総説	17,000字以内	400字以内	5語以内	5点以内	50個程度	300語以内	8頁以内
原著論文	17,000字以内	400字以内	5語以内	7点以内	10～20個程度	300語以内	8頁以内
症例報告	8,000字以内	400字以内	5語以内	7点以内	10～15個程度	300語以内	4頁以内
実践報告	8,000字以内	400字以内	5語以内	5点以内	10個程度	200語以内	4頁以内
資料	8,000字以内	400字以内	5語以内	5点以内	10個程度	200語以内	4頁以内
短報	4,000字以内	400字以内	5語以内	2点以内	10個程度	200語以内	2頁以内
研修報告	4,000～6,000字以内	400字以内	5語以内	2点以内	10個程度	200語以内	2頁以上3頁以内
編集者への手紙	簡潔に記載						

※1 図表の文字換算は、大1,200字程度、中700字程度、小300字程度である。
 ※2 刷り上がり本文1頁は、図表を含まない場合、2,000字程度である。
 ※3 図表のトレース、カラー製版は執筆者実費負担とする。
 ※4 刷り上がり頁内を越えた場合、超過分1頁につき10,000円の印刷費を執筆者実費負担とする。

2012年6月30日改訂 2014年6月30日改訂 2015年1月12日改訂 2016年9月10日改訂 2016年12月1日改訂